

# 美 楽 舎

会報 第245号 (平成24年3月発行)

東京都中央区京橋 3-9-2 プラザ京橋ビル K's Gallery 内

Tel 03-5159-0809 Fax 03-5579-9004 メール [kgallery@eagle.ocn.ne.jp](mailto:kgallery@eagle.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://bigakusya.com/>

## 第267回(2月)例会報告

### 横浜美術館「松井冬子展」鑑賞

2012年2月11日(土)

参加者 : 泉、北林、澤登、鈴木、柗木

#### <鈴木忠男>

当日は青空で男性5人がロビーに集合した。何とまだ2時間前だというのに既に200人も並んでおり講演は早々にあきらめて、展覧会を見る。

「思考螺旋」の他に欲しいなと思ったのは「腑分図：乳児前面」(成山画廊で見た。皿に盛った静物画のよう、死して横たわった天使に見える)

「引き起こされた不足あるいは過剰」(横浜美術館で見た。対面する尾長鶏、長い尾は髪の毛のよう)の2点。「九相図」は新作3点あり、10図の内の半分が完成した。見終わった後ロビーで休んでいたら成山さんが挨拶に来て2席なら取れるというが、そうもいかない。まだまだ長い列が続いていた。後日5万人入場、4月12日「公式カタログ」(河出書房新社)3990円刊行との情報あり。

飲み会は1年前の地震の時に一夜を明かした桜木町駅地下の居酒屋へ連れて行く。キンミヤシャーベットとビールと焼き鳥を注文する。駅で他の人とはぐれてしまい1人で帰る。



後日談：森美術館チーフキュレーター片岡真美からメール連絡があり

「思考螺旋」の貸出、「アジア美術館」(サンフランシスコ)で開催される「アジアの亡霊展」(9~12月)へ出品の件だった。片岡がゲストキュレーターとなり日本作家は杉本、須田、小谷、松井(7点)、近藤亜樹(知らない作家)、ヒョンギョン(京都在住の韓国人作家)の6人展示。

2月14日の夜、その館長と片岡のトークがあり森美術館に聴きに行くと、成山と松井も来たので(館長が昼間、横浜に見に行ったようだ)終了後、(やっと本人に)挨拶した(出来た)。

\*片岡は開催中の「イ・ブル展」を担当しており「美術手帳4月号：特集草間弥生」にその記事掲載あり、また「会田誠展」も担当する。

